

頑健な金融システムの構築に向けて

—金融危機後の取り組みと今後の課題—

〔預金保険機構(DICJ)・国際預金保険協会(IADI)国際コンファレンスにおける講演〕

2017年2月16日
日本銀行総裁
黒田 東彦

国際金融規制

バーゼルⅢ

資本の質・量の強化(分子)

- ✓ 量: 普通株等Tier1比率の導入、最低所要水準の引上げ
- ✓ 質: 自己資本の定義の厳格化

リスク捕捉の強化(分母)

- ✓ 銀行勘定金利リスク
- ✓ 信用リスク
- ✓ オペレーショナル・リスク

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{リスク・アセット}}$$

大口与信規制

3つの新たな規制による補完

流動性比率規制

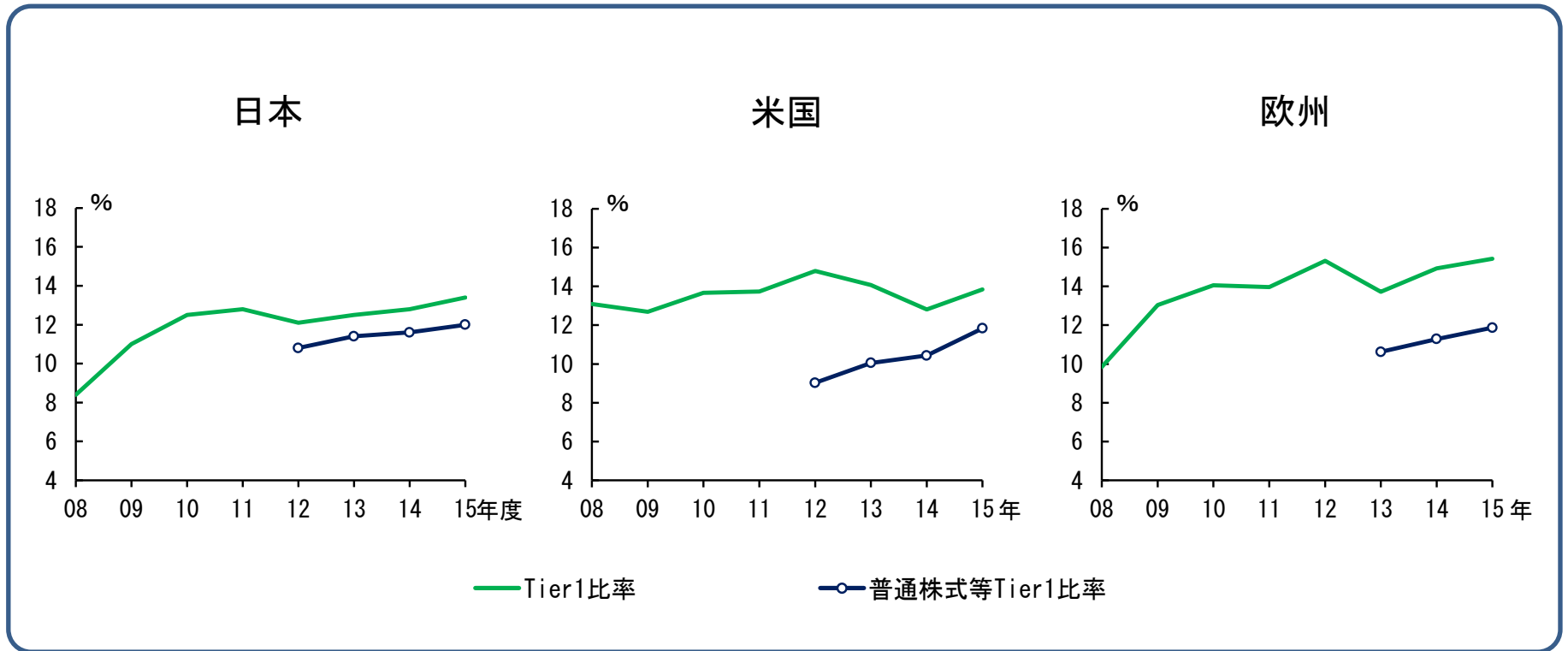
- ✓ 流動性カバレッジ比率(ストレス時の対応力強化)
- ✓ 安定調達比率(長期の運用資産に対する安定的な調達手段を確保)

レバレッジ比率規制

Too-big-to-fail問題対応

- G-SIBsに対する追加的資本賦課
- G-SIBsの実効的な破綻処理制度の整備
 - 法制度の整備
 - 再建・破綻処理計画の策定
 - 破綻時総損失吸収力の導入

主要国金融機関の自己資本の充実



(注) 1. 日本は、国際統一基準行の加重平均値。

2. 米国は、5行 (Bank of America Merrill Lynch、Citi、Goldman Sachs、J.P. Morgan、Morgan Stanley) の単純平均値。

3. 欧州は、6行 (Barclays、BNP Paribas、Credit Suisse、Deutsche Bank、HSBC、UBS) の単純平均値。

(資料) 日本銀行、Bloomberg

マクロプルーデンス政策

マクロプルーデンス政策手段

- ✓ カウンターシクリカル・バッファ
- ✓ LTV(Loan-to-Value)比率規制 など

マクロプルーデンス政策の制度的枠組み

- ✓ 規制・監督当局が複数にわたる国での合議体の設立 など
- ✓ 日本では「金融庁・日銀連絡会」を設置

「最後の貸し手」機能の新たな展開

伝統的な「最後の貸し手」(Lender of Last Resort) 機能

- ✓ 金融機関の経営悪化が預金者の連想などを通じて伝播するリスクへの対応

「最後のマーケット・メイカー」(Market Maker of Last Resort) 機能

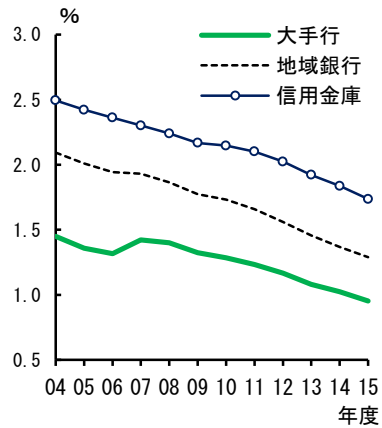
- ✓ カウンターパーティ・リスク懸念による市場取引の収縮への対応

「最後のグローバルな貸し手」(Global Lender of Last Resort) 機能

- ✓ 国際的に活動する銀行の外貨流動性不足への対応

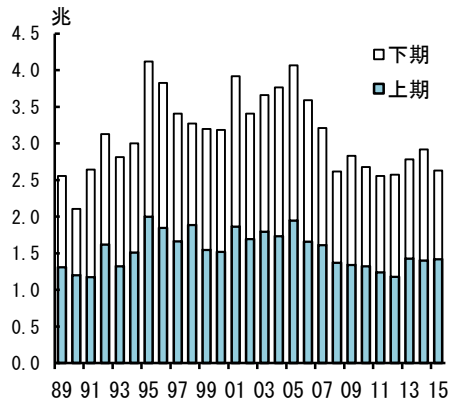
日本の金融機関の基礎的収益力

貸出利鞘

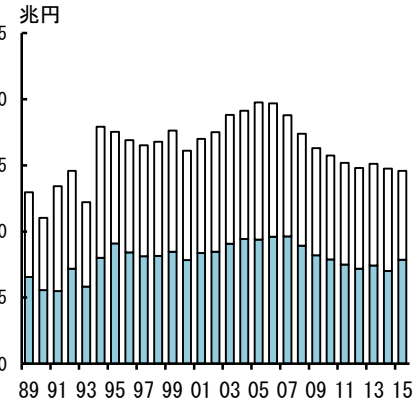


コア業務純益

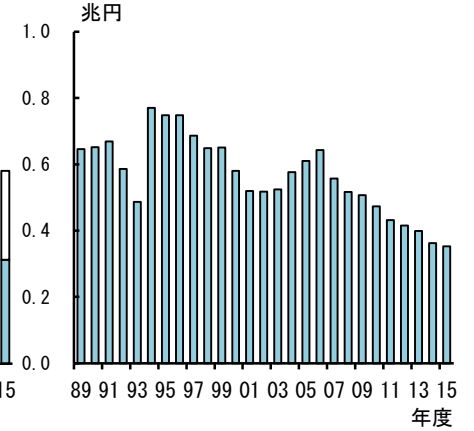
(大手行)



(地域銀行)



(信用金庫)



(資料) 日本銀行